

令和5年度 東白石中学校地区「小中一貫した教育」グランドデザイン 東白石中学校 大谷地小学校 東白石小学校 本郷小学校

地域・保護者の願い

- ・学校に楽しく通う
- ・安心安全な学校生活を送る
- ・思いやりのある子どもの育成
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」を誰でも自然に言える子に
- ・友達や先生と信頼関係を築き、豊かな心を育む
- ・自立や社会性の育成
- ・基礎的学力の定着および向上
- ・家庭学習の確立
- ・将来に向けたキャリア教育を

↓

- ◎子どもの成長を温かく見守り、支えたい
- ◎みんなで子どもを見守る地域に

札幌市がめざす「小中一貫した教育」の目標

「自立した札幌人」の実現に向け、「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

東白石中学校地区小中学校の目指す子どもの姿

小中一貫した教育で目指す15の姿

「自信あふれる姿での巣立ち」

- ・学ぶ意味を理解し、得た知識や技能を進んで活用する(知)
- ・思いやりを行動にあらわす(徳)
- ・心身の健康の保持・推進に積極的に取り組む(体)

今年度の重点 ～共有と協働活動の推進～

<ul style="list-style-type: none"> ・地域、PTAへの情報発信と共同活動の推進 ・児童と生徒の共同活動の推進 ・授業観察、授業交流、出前授業、共同授業の推進 ・実務担当者会議の定例実施継続 ・小中教職員交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援者の活用 ・PTAと地域との連携(まちづくりセンター、連町・町内会) ・児童生徒間の活動の具体 ・校長交流会の定例実施継続 ・教職員間の連携方針の確認
---	--

児童・生徒の実態、取組の改善

【知】

- ◆与えられた課題に真面目に取り組む。
- ◆基礎的な学習内容が確実に身に付いていないために思考力・判断力・表現力が発揮できないことがある。
- ◆家庭学習を含め、学習習慣の確立が課題である。

↓

◎家庭での学習習慣、基礎基本を定着させる取組を継続的に行う。
◎思考力・判断力・表現力を発揮する場を設定する。

【徳】

- ◆全般的には明るく、素直な対応のできる子が多い。思いやりの気持ちを大切にしたり、友達の頑張り温かい言葉を掛けられる姿も見られてきている。
- ◆中学校段階では学校生活のルールをしっかりと守り、落ち着いた生活を送る姿が多くみられる。
- ◆各学年で、特別な配慮や登校支援を行うことが必要である。
- ◆一人で悩みを抱えず相談できるような支援が必要である。

↓

◎自分のよさに気付けるよう友達のよさを伝える機会をつくったり、基本的なルールやマナーを守ろうとする姿を称賛したりする関わりを継続していきたい。

【体】

- ◆新体力テスト等統計上の課題はあるが、体を動かすことの好きな子どもが多い。
- ◆体力の向上に向けての意識に二極化の傾向が強まっている。
- ◆家庭での生活を含め、生活習慣の確立が課題である。

↓

◎体育や休み時間に体を動かす機会を増やす取組を行い、体力向上を目指している。
◎体力・健康増進に向けた目標を自分で決め継続して取り組める

【知】グループ(学ぶ力の育成)

- ・学習規律の在り方
- ・授業参観→各学校の取組のよさを共有
- ・宿題、家庭学習について

【徳】グループ(豊かな心の育成)

- ・4校同日のあいさつ運動
- ・生徒会の取組→小学校へ発信
- ・各学校の取組を交流→共有

【体】グループ(健やかな体の育成)

食育、保健
健康課題を自分事として考える取組を共有

体力向上、運動促進
運動が好きな子ども増やす取組を共有

→各学校の改善に生かす